

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

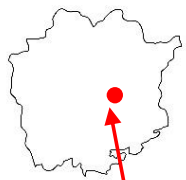
【地区の概要】

- 水稻、小麦などの土地利用型作物の栽培が主体の中山間地域
- 農業者の高齢化と担い手不足が懸念されるため、担い手を中心に経営の効率化を進めることで農地集積を行う必要がある地区

【支援内容・背景】

- 高齢化が進む地域農業の維持・発展を図るため、担い手の経営規模の拡大や経営の複合化等の取組を支援し、担い手の確保・育成及び農地の集積・集約を図ることが必要。
- 助成対象者は地区内で米を中心として経営を開始し、今後地区内の農地を積極的に借り受けることで急速な規模拡大を予定。そのため、新たに高性能機械の導入等を支援することで、担い手への農地集積・集約のモデルとして育成・支援。

岡山県



津山市
津山東・勝北地区

助成対象者「●●●●●株式会社」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 令和3年 営農開始・法人設立
経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 経営面積及び作業受託の増加を図るためには、作業の効率化を図る大型機械やスマート農業機器の導入が必要。経営面積拡大に向け、作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】

〈R3年度〉

※付加価値額のみR2年度

- 付加価値額 0千円
- 水稻 2.0ha
- その他作物 3.8ha

《事業による主な整備内容》

- トラクター 1台
事業費 7,007千円
(国費 3,503千円)
- ウイングハロー 1台
事業費 1,705千円
(国費 852千円)
- ドローン 1台
事業費 3,261千円
(国費 1,630千円)



【現在の経営状況】

〈R6年度〉

- 付加価値額 15,881千円
- 水稻 25.5ha (1,275%)
- その他作物 9.5ha (250%)

事業の
効果

《対象者》 作業効率化が図られ、経営面積及び作業受託が増加し、付加価値額の拡大が実現。

《地区》 生産体制の強化と経営の効率化を図ることにより、地区内の農地の集積・集約化が達成され、経営モデルとして確立。